

計画事業番号	00324	事務事業名	大学連携推進事業	担当部署	企画財政部企画課	電話	3603
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	自治事務は市独自の判断で取り組む事業で、法定受託事務は本来国や道が実施すべき事務を法律で市が処理することとされている事業です。			
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち (第 9 節) 大学との連携 (施策 1) 大学との連携		目的を具体的にかつ明確にするため、「対象」（誰、又は何を）と「目的と内容」（何を狙っているのか、対象をどのような状態にしたいのか）に分けて記入しています。	
2 対象	大学			
3 目的と内容	大学が有する知的資源や大学生の活力を生かしたまちづくりを推進するため、各種連携事業を実施する。			
4 実施内容(手段)	28年度まで	・道都大学との包括連携協定に基づく連携協議会や各種連携事業の実施 ・道都大学生を対象としたキャリア支援演習の実施 ・道都大学生のインターンシップの受け入れ ・北広島市学生地域活動支援事業補助金制度の運用 ・広葉交流センター内の道都大学サテライトキャンパスの利用促進 ・北海学園地域連携特別講座の開催		概ね過去3年間程度に実施した事業内容を記入しています。
	29年度	・星槎道都大学との包括連携協定に基づく連携協議会や各種連携事業の実施 ・星槎道都大学生を対象としたキャリア支援演習の実施 ・星槎道都大学生のインターンシップの受け入れ ・北広島市学生地域活動支援事業補助金制度の運用 ・広葉交流センター内の星槎道都大学サテライトキャンパスの利用促進 ・北海学園地域連携特別講座の開催		

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
・各種連携事業の実施 ・大学との連携の可能性が ある事業の発掘 ・連携事業の連絡・調整	・学生地域活動支援事業補助金:2件へ助成 【星槎道都大学関係】 ・地域連携協議会 3回開催 ・委員依頼:16事業 ・講師依頼:2事業 ・ボランティア依頼:13事業 ・軽音フェス等の連携事業	・各種連携事業の実施 ・大学との連携の可能性 がある事業の発掘 ・連携事業の連絡・調整	・各種連携事業の実施 ・大学との連携の可能性 がある事業の発掘 ・連携事業の連絡・調整	・各種連携事業の実施 ・大学との連携の可能性 がある事業の発掘 ・連携事業の連絡・調整	・各種連携事業の実施 ・大学との連携の可能性 がある事業の発掘 ・連携事業の連絡・調整	・各種連携事業の実施 ・大学との連携の可能性 がある事業の発掘 ・連携事業の連絡・調整	・各種連携事業の実施 ・大学との連携の可能性 がある事業の発掘 ・連携事業の連絡・調整

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		広大 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	星槎道都大学との包括連携協定に基づき連携可能な事業の実施に向けた検討を継続的に行うとともに、各種連携事業の活動状況について市民への情報発信を進める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【評価項目】を踏まえ、事務事業担当部局として総合的な観点から判定し、次年度に向けた考え方や具

1次評価やヒアリングを踏まえ、事務事業の今後の方向性を判定し、その説明について記入しています。

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			635	808	776	776
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	635	808	776	776
	① 合計	635	808	776	776	
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			2,315	2,488	2,456	2,456

この事務事業の実施に係る正職員及び再任用職員の人数を示しています。

職員の給料、手当、共済費などすべての費用の合計額の平均額です。

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 学生地域活動補助金制度補助申請件数	目標値	件				10
		実績値					
	② 学生地域活動補助金制度補助決定件数	目標値	件				3
		実績値					
③ インターンシップ生の受入れ件数	目標値	人	3	3	3	3	
	実績値		3				
成果指標	① 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					

活動した内容が具体的な数字でわかるように指標(ものさし)を設定し、その活動量や実績値、目標に対する達成度合い等を記入しています。

目的がどの程度達成されているかを測る指標(できるだけ定式化する)を設定して、その実績値や目標値を記入しています。

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	大学が有する知的資源・研究成果、大学生の活力をまちづくりに生かすものであり、行政が関与することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	学生地域活動支援事業補助金制度により学生の自主的な活動を支援しているところであるが、今後も連携可能な事業の実施に向けた検討を継続的に行う。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	継続的な取組みにより成果が向上していくものとする。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	大学が有する資源を生かしてまちづくりを進めるものであり、経済性は確保されている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】 法律の義務付けあり 法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】(事業担当部局が評価) 民間等での実施または市民等との協働が可能である。
 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。